

# JOKATSU+ VOL.4

じょかつプラス



株式会社共立アイコム  
(藤枝市/販売促進に関する企画・制作、総合印刷業)

今年で創立60周年を迎える株式会社共立アイコムは、印刷業から「情報価値創造業」への業態を変革し、印刷も含む情報を取り扱う会社を目指し、2008年創刊のフリーペーパー「地域情報誌『むるぶ』」の発行や、web制作・システム開発、イベント事業、インターネット通販事業「藤枝アグリ楽天店」のオープンなど、事業領域を拡大している。それに伴い人材育成の社員教育や社員定着のための取組みに力を注いでおり、制度面では、育児休業取得者の「時短勤務制度」拡充の他に、ライフサイクルに合わせ正社員に戻れる「正社員より勤務時間が短く年間出勤日数が少ない」契約社員への転換制度を導入。2011年には藤枝市男女共同参画推進事業所として第1号に認定され、女性社員が産後も働きやすい環境で活躍女性が増えている。

現在2歳のお子さんがいらっしゃる、入社9年目のWebデザイナーの油井美乃里さんも育児休業制度と時短制度を利用し、育児と仕事を両立し活躍しているお一人。「人数の少ない部署で、育児休業で一人減という状況は、上司や同僚は大変だったと思う。その方々が応援してくれることが嬉しかった。1年の育休中は、毎月報告会情報として会社の状況をメールで頂いていたので、会社の方向性など知ることができ、復帰後、戸惑うことが無かった」と語る。彼女は、契約社員転換制度を使わず、正社員の時短勤務制度を選択、出勤時間を30分ずらす時差出勤もあわせて利用しながら、出勤前に家事を



Webデザイナー 油井 美乃里さん

発行日：2014年1月22日  
発行：静岡県 経済産業部 労働政策課

企画・制作：株式会社共立キャリア  
〒420-0852 静岡市葵区紺屋町11-1 浮月ビル5階  
TEL：054-252-8820 FAX：054-270-6520  
URL：http://www.uruoipplus.jp

片付け、帰宅後の家事の量を減らせたことで、気持ち的な余裕ができた。時短により仕事が疎かになるのではという不安もあったが、定時で仕事を終わる意識が強くなり、逆に仕事の効率アップとモチベーションアップにつながっている、という。

インターネットの世界はすぐに新しい技術が出てくるため、時代に取り残されず、常に新しい知識、情報を模索していかなければならない。「この会社の好きなのところは、社員一人ひとりのモチベーションを高く持ち、仕事する姿勢があり、自分も負けないように頑張ろうと思えるところ。仕事と育児を両立し働きたい女性社員、そして女性社員だけでなく男性社員の手本になっていきたい」と語る彼女は、今年の6月に第二子出産予定。2度目の育児休業制度復帰後は、ますますパワーアップしてくるだろう。

【会社概要】株式会社共立アイコム  
代表取締役社長：小林武治  
所在地：静岡県藤枝市高柳1-18-23  
設立：1954年  
従業員数：151名（男性97名、女性54名）  
事業内容：広告・宣伝・販売促進に関する企画制作、商業印刷全般  
HP：http://www.kpnnet.co.jp

## 活躍女子の窓

～家庭も仕事も大切に、葛藤から学ぶステップアップ活躍女子～

現在、イトウシャディで営業や企画を行う増田さん。外部ではお客様とお話することで会社の魅力を伝えていき、内部では引き出物などの販売やチラシ作り、会社の方針を見直していく作業を行っている。昨年開始したばかりの営業部門で、失敗を自分の成長につなげている彼女の輝く姿を見ていきましょう。

### ～苦労から学ぶこと～

お客様にアプローチしていく営業部門はひとつひとつの業務がすべて新しい内容である。そのため、業務の中でトラブルが起こったとしてもその前例がなく、解決する手立てを自分で考えながら行動しなければならない。時折、自分の行動が解決に結びつかないことがあるが、その失敗を糧に日々努力しているという。「失敗したら分だけ別の方法を探ることができるため、たくさん方法を学ぶことができ、より情報を収集することができている。」と充実した表情で語っていた。

### ～仕事のやりがいや意識していること～

お客様が笑顔で帰って下さるところを見送ると自分も喜びを感じると語る彼女。来店したお客様は初め、どのようなお礼の品や引き出物を買えばよいのか分からないという不安や緊張の色を浮かべているが、共に悩み選んでお客様の気持ちを初めて形にしたとき、その表情がすっきりと晴れやかになっているのを感じるという。彼女はこの表情を見るのが一番好きで、今まで以上に笑顔にしたい、喜んでもらいたいと思っている。そのため、彼女はできる限りお客様の気持ちを取り入れた品物を提供し、もらった先の方もお客様自身も笑顔になるようにするにはどうしたらよいかを考えながら接客しているという。

### ～葛藤から学んだこと～

以前、家庭や仕事において目の前のやらなければならない作業のみ目を向けていた彼女。特に仕事が多忙な時は仕事一本で過ごしていた。そんな生活の中で仕事と家庭のバランスを崩し一年前に退社した。退社して彼女は今までの行動を見つめ直し葛藤をしていた。自分の考え方に違和感を持ち、社内だけではなく初対面の人と話しながら他の人の生活や考え方を吸収し、視野を広げたいと思い、この「働き女子のしごと塾」に参加したという。参加してからは家庭でも仕事でも「心で物事を見て」いくように心がけているという。現在家庭では、子供や夫とどんなささいなことでも話をしていくことで家族の絆をより深めている。同社に再就職という形で復帰後、仕事では同僚や上司の注意や助言にもっと耳を傾け、心にゆとりを持つことで精神的にも体力的にも余裕を持って行動するようになった。さらに自分という主体にいかにも多くの経験を取り入れるかを意識するように心がけているという。失敗や困難を悪いものとは捉えず、それを踏み台にしてさらにステップアップを図る彼女は「今後、社会に大きく貢献していきたい。」と語っていた。



### <プロフィール>

○名前：増田 由紀子さん  
○出身地：御前崎市  
○会社名：イトウシャディ株式会社  
○仕事内容：販売（贈答品販売の店員と営業）  
○入社年月：2013年9月 再入社  
○あなたにとって仕事とは…：自分がどのように輝けるのか、チャレンジできる場所

## 管理職の虎の巻

できる上司の必須スキル ～女性社員を部下に持つ管理職、必読！～

働く女性に「どんな上司のもとで働きたいか」と聞いたところ、「頼りになる」上司、「相談しやすい」上司、そして「わかってくれる」「認めてくれる」上司という回答が多くあがってきました。女性は、上司から言われた一言で「わかってもらっている」「認めてくれる」とすぐに察します。そこで、今回は、女性たちのホンネ、「上司から言われてモチベーションが上がった/下がった言葉」についてご紹介します。

### 上司に言われてモチベーションが上がった言葉

「成長したね」  
「もうすっかり一人前だね」  
「〇〇さんにまかせれば安心だ」  
「あなたの仕事を評価しない上司はいない」  
頑張ったことを認めてもらえたと思えて嬉しかった。

「〇〇で大変だと思うけど、よくやっているね。頑張っているね」  
ふとした時、一対一で話す機会に言われた時に感動した。

「〇〇さんのおかげで職場の雰囲気が良くなった」  
「上司にとって、あなたの様な人がいるととても助かる」  
上司のお役に立てていることが実感できて、嬉しかった。

女性社員の心を掴む「魔法の言葉」をかけられる管理職は、日常の部下の表情や言動をよく観察しています。まずは、部下に関心を持つことが大事です。

承認欲求は、男性よりも女性のほうが強いと言われていますが、最近では、若手男性社員も「わかってほしい」「理解してほしい」欲求が強まっているようです。女性社員に対してモチベーションをあげられるようになれば、どんな部下に対してもモチベーションをあげられる管理職になります。

### 上司に言われてモチベーションが下がった言葉

相談したときに「別にどっちでもいいよ」  
自分の仕事をないがしろにされていると感じた。  
「良く考えてからやってみて」  
困っているから相談をしたのに、アドバイスが具体的にもらえなかった。

「前にも同じこと説明したよね」  
「こんなことも分からないの。前の職場で何を学んできたの」  
聞きづらいと思いながら、勇気を振り絞って質問をしたのに、わからない事があっても聞きづらくなった。

「〇〇さんは繊細なので、きついことは言えない」  
言いづらいタイプがいることはわかるけど、きちんと言うべきことは言ってほしい。

「じゃあ、あとは〇〇さんをお願いして」  
自分が企画したことに対してやらせてもらえなかったとき。

## information

～お問い合わせ・お申し込み～  
株式会社共立キャリア  
TEL：054-252-8820 Mail：info@uruoipplus.jp

静岡県委託事業 企業の成長は女性が握る！ ～事例から学ぶ人材活用と実践的意識改革～

○VOL.3 2014年2/26(水)13:30～16:30  
管理職の一言が女性社員のモチベーションを変える！ ～成果を出す管理職とは～

静岡県委託事業 女性リーダー研修【全3回】～自分らしいリーダー像を創る～

※全3回ですが、VOL.2とVOL.3のお申し込みも可能です。

○VOL.1 2014年1/22(水)13:30～17:00(終了しました)  
『女性管理職ロールモデルカフェ』～女性の視点を活かしたリーダーとは～ 女性管理職によるパネルディスカッション

○VOL.2 2014年2/5(水)13:30～17:00  
『伝える力・巻き込む力をつける』～相手も主体的になれるコミュニケーション術～

○VOL.3 2014年2/19(水)13:30～17:00  
『自分らしいリーダー像を創る』～従来型の管理職とは違う！自分の強みを活かす～

※終了したセミナーのレポートはHPよりダウンロードできます。  
http://www.uruoipplus.jp/training.html